

平成20年度 第4回北海道ブロック協議会

第4回北海道代協常任理事会

議 事 録

平成21年1月16日(金)pm1:00~5:00

於：北海道厚生年金会館



出席者

会長	向出 明彦	札幌	常任理事	鈴木 雅裕	小樽	教育	山崎 善仁	札幌
副会長	阿部 實	札幌	常任理事	佐藤 聖	苫小牧	地球環境社会貢献	林 昌宏	旭川
副会長	石岡 憲義	函館	常任理事	多和 康司	千歳	政治連盟	梅基 伸男	札幌
副会長	長尾 忠正	釧路	常任理事	小野 修	函館	札幌副支部長	町野 泰明	札幌
副会長	羽山 和広	帯広	常任理事	山吉 行雄	釧路	札幌副支部長	見上 峰夫	札幌
副会長	小谷田正彦	旭川	常任理事	酒井 惇	帯広	事務局長	末原 正二	札幌
専務理事	山口 史朗	札幌	監事	長太 義雄	札幌	事務局員	藤田 和代	札幌
常任理事	佐々木雅之	札幌	監事	木下 裕章	小樽	オブザーバー	金浜 善孝	室蘭
常任理事	廣瀬 禎	室蘭	組織	伊藤 輝雄	函館	オブザーバー	佐々木彰夫	室蘭
常任理事	寺田 賢	旭川	企画環境	吉田 和彦	釧路	オブザーバー	大橋 敏	函館

司 会 専務理事 山口史朗

1. 開会の辞(廣瀬 禎)

2. 会長挨拶(向出明彦)

- 1、北海道代協が法人として12月1日に諸手続きが終えて登記された。作業にあたり、山口専務理事をはじめ、各支部の担当者に感謝すると共に、会員としての意識を新たにしたい。
- 2、コンプラ不況、業界に漂う閉塞感、保険会社と代理店との不信感、合併による保険会社の寡占化等の問題が取りざたされている。

3. 倫理綱領の朗読(山吉行雄)

4. 議長選出

議長には羽山和広氏(帯広)が指名され、承認を得た。また議事録署名人には山口史朗(札幌)阿部 實(札幌)の両氏が指名された。

5. 議 事

[I] 報告事項

(1) 支部報告(資料参照)

<補記> 室蘭：タオルボランティアに代わるものを検討している。

旭川：防犯セミナーは盛況だった。

千歳：2月13日に「代理店賠償」を題目にアリアンツの講師を呼んでセミナーを開催する。

函館：12月「代協はこだて新聞」第2号を発刊した。

(2) 日本代協委員会報告

(I) 企画環境委員会(吉田和彦)

- ①「銀行窓販」「郵便局の保険販売」については引き続き情報を収集し、監視していきたい。
- ②「ディーラー、整備工場」の代協への加入については基本的に認めるが、審査が必要である。

(II) 教育委員会(山崎善仁)

- 1 平成20年11月27日・12月11日の2回に渡り「日本代協認定保険代理士」審査委員会が開催され、新たに662名が認定された。北海道においては29名が認定された。
- 2 平成20年12月11日に「日本代協認定保険代理士」更新認定の審査委員会が開催され、1,386名が認定された。北海道においては3期6期を中心に73名が認定された。
- 3 第12期の保険大学の目標は全国で728名、その内北海道ブロックは35名が目標である。
- 4 取り組み目標については「会議資料」のとおり承認された。また、12期のポスター及び募集要領を説明した。
- 5 保険大学の日程
第10期4回目 4月8日
第11期2回目 4月7日
- 6 更新研修の日程
平成21年7月6日 1期、4期、7期が受講となります。
- 7 日本代協認定保険代理士の広告について
ラジオ、読売新聞、アエラ、JAFメイト、月刊消費者等の各紙に掲載される。
- 8 第11期受講生まで、受講生1万人を超した記念により「日企」より第9期までの認定代理士に「ストラップ」が授与された。
- 9 「ピアス海外研修」が募集中ですのでぜひ参加されるように

(III) 組織委員会(伊藤輝雄)

- 1 北海道代協の当初目標(526)は困難なので、後の審議事項で増強の取り組みについて議論を頂く。
- 2 本部においては1支部1会員運動を展開している。「会議資料参照」
- 3 「年金基金」パンフレットの配布

(IV) 政治連盟(梅基伸男)

- 1 10月28日に本部会議があった。選挙にまつわる具代的な候補は挙がっていない。
- 2 会費の未納支部は是非、早急に納入して欲しい。

(V) 地球環境・社会貢献委員会(林 昌宏)

- 1 10月24日、本部にて委員会が開かれた(会議資料参照)
- 2 「タオルボランティア」は北海道だけのようです。

3、常任理事会報告(向出明彦)

高梨常任委員が欠席の為、向出会長が報告
議事録参照

[II] 審議事項

(1) 一般社団法人の設立報告と審議

- 1 一般社団法人設立報告(山口史朗)
承認された
- 2 法人役員人事(山口史朗)
会議資料提案どおり承認された
- 3 スローガン一部訂正(山口史朗)
保険大学と代理店賠償で、資質の向上と差別化を図ろう。

↓

保険大学と代理店賠償で、資質の向上を図ろう。

訂正項目が承認された。

- 4 法人意向確認の取れない会員に対する対応(山口史朗)
苫小牧支部にて現在2会員の確認が取れていないが、支部長が3月末までに説得したい旨。
基本的には移行確認取れない会員に対しては3月末にての脱会手続きを要請する。
以上を確認して承認された。
- 5 運営規則の是非
前回よりの審議事項
会議資料原案にて承認された。
- 6 事業方針策定とブレイントラストについて(向出明彦)
会議資料原案にて審議されたが一部修正(「評価」の文言は変える)の後、承認された。
- 7 理事会の開催日数
「費用の問題」、「ブレイントラスト」の活用を含めて、総会、理事会2回と合わせて、計年度内3回とすることが承認された。
- ⑧委員長人事について(向出明彦)
「ブレイントラスト」にて検討することが承認された。
- 8 今後の日程(理事会、披露パーティー、総会)について
総会(披露パーティーをも含む)については5月22日とする、それ以前に支部の総会を終了することを確認し、承認された。

(2) 会員増強について(長尾忠正)

- 1 伊藤組織委員より、会議資料から北海道代協の20年度目標は507会員としている、又北海道代

協自主目標として526会員を目指したが状況が困難である。従って各支部これから3月末までに一律4会員の増強を要請され、承認された。

2 上記より各支部の取り組みを発表してもらいたい。

1、釧路支部－86会員

- 1 プロ代理店の加入は少ないが、ディーラーの入会があり84会員までは出来そうです。
- 2 役員が勧誘に動くことが必要。

2、札幌支部－129会員

- 1 会員同士の合併が進んで厳しいこともあるが4名の増強はやる。

3、室蘭支部－19会員

- 1 メリットの強調、退会した会員を再度勧誘し努力する。

4、旭川支部－75会員

- 1 かなりの速度で合併が進んでいる。賀詞交換会、セミナー等でも話しかけている。2月に2店減る予定なので厳しい、75会員まで努力したい。

5、苫小牧支部－30会員

- 1 幹事会で対策を話し合っている。保険会社6支社にも訪問する予定。

6、千歳支部－25会員

- 1 退会した代理店が再度加入する予定。

7、函館支部－75会員

- 1 修理工場、ディーラーの入会の是非は特に考えていない。

8、帯広支部－51会員

- 1 支部長とも相談しながら是非50会員にしたい。

9、小樽支部－21会員

10、オブザーバーの意見

- 1 企業化された代理店を説得する。
- 2 一本釣りにて勧誘をする。
- 3 セミナー、酒席等の機会を捉えて勧誘をする。

(3) その他

1 日本代協よりの借り入れ資金の件について

- ・ 運転資金として申請したが拒否された。再度検討して申請をし直したい。

②「一般社団法人北海道代協」はいつから名乗ったらよいか

- ・ 各支部の会費、事業収入を考えると公的に問題点もあるが、現実的には使用せざるを得ないのではないか

③ 室蘭支部において整備工場の広告について

- ・ 「保険代理店に支払いをしている10パーセントいりません」との広告に抗議したら、「一部の代理店」との文言に変更された。

④「日本代協認定保険代理士の会」について

- ・ 初回の会合については4名の出席しかなく、今後の会合においては各支部1名は出席して欲しい。

以上をもって、議長は退任

6. 閉会の辞(小野 修)

平成21年1月16日

議 長 副 会 長 羽 山 和 広

議事録署名人 副 会 長 阿 部 實

議事録署名人 専務理事 山 口 史 朗